

教育委員会定例会議事日程

平成30年6月11日(月)午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項
「JOCオリンピック教室」(浦島丘中学校開催)について
- 3 請願等審査
受理番号3 2018年度の中学校「道徳」教科書採択に関する要望書
- 4 審議案件
教委第14号議案 横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について
- 5 その他

平成30年6月11日

教育委員会定例会 一般報告

1 市会関係

- 5/30 こども青少年・教育委員会
- 6/5 本会議（第4日）議案議決

2 市教委関係

（1）主な会議等

- 5/31、6/1 平成30年度第1回指定都市教育委員会協議会
- 6/2 平成30年度横浜開港記念式典

（2）報告事項

- 「JOCオリンピック教室」（浦島丘中学校開催）について

3 その他




「JOCオリンピック教室」(浦島丘中学校開催)について

平成30年5月23日(水)24日(木)の2日間、浦島丘中学校で「JOCオリンピック教室」が開催されました。今回は、オリンピックの3名の方を講師にお迎えし、中学校2年生の生徒を対象に1クラス2時間ずつ授業をしていただきました。

◆オリンピック教室とは…

オリンピックが教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値がオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことができるものであることを学習する授業です。

今回お迎えした3名の講師

高橋 成美 氏 〈スケート/フィギュアスケート〉 2014年 ソチオリンピック 	村上 睦子 氏 〈バスケットボール〉 1996年 アトランタオリンピック 	夏見 円 氏 〈スキー/クロスカントリー〉 2002年 ソルトレークシティオリンピック 2006年 トリノオリンピック 2010年 バンクーバーオリンピック 
---	--	--

【村上 睦子 講師の授業より】

●1時間目

「ルールを守り、どんなことにも全力で!」「友達と声をかけ合い協力しよう!(思いやり)」「みんなでアイデアを出し合い、チームで工夫しよう! チャレンジしよう!」という3つのめあてをもって活動しました。

準備運動からスタートし、テンポよく進む授業に子どもたちはぐいぐい引きつけられていきました。また、1人から2人、3人、そしてグループでの活動へと、授業が意図的・計画的に練られており、新学習指導要領でも示されている「主体的・対話的で深い学び」につながる時間でした。授業の中で、どんどん子どもたちが生き生きとした表情に変わっていくのが印象的でした。

●2時間目

オリンピックの歴史や「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」といったオリンピックバリューについてお話がありました。また、自分の思いを言葉で伝えることの大切さ、あきらめるのは簡単であるが、あきらめて後悔しないかを考えること、一歩を踏み出さなければ何も変わらないこと、やってみたくと思ったときに挑戦することなどをご自身の経験をもとに、熱く語っていただきました。その後、子どもたちがオリンピックバリューを自分ごととしてとらえ、グループで話し合い、クラスで共有しました。



生徒の感想

- ・仲間と協力することで、バスケットボールの楽しさを知ることができました。
- ・声を出すことで、さらにチームの仲間との絆が深まって、とてもよい経験になりました。
- ・バスケットボール初心者の方も、1回目の経験を活かして、2回目には成功できて、みんなで達成感を味わうことができました。

横浜市教育委員会
教育長 鯉淵 信也 様
教育委員の皆さま



受理番号 3

2018年5月14日

西区教科書を考える会
代表 高橋 昭七
連絡先・事務局
西区御所山町
Tel・Fax

2018年度の中学校「道徳」教科書採択に関する要望書

子どもたちのために教育行政にお励み下さり、感謝申し上げます。

小学校では今年4月から「道徳」が教科化され、中学校でも「道徳」教科書採択の準備がされていることと思います。私たちは、国家に従順に命を捨てることを子どもたちに教えこみ、戦争に駆り立てた戦前・戦中の修身教育が、道徳教育によって繰り返されるのではないかとの恐れを覚えずにはられません。

子どもたちを一つの答えに導くのではなく、多様な考え方を知って考えさせる教育がされるよう、「道徳」教科書の採択にあたっては以下の点についてご配慮されることを要望いたします。

要望項目 1.

生徒を直接指導し、評価する教員の意見を充分にくみ上げる方策をとり、参考にして採択されること。

理由

どれがその地域の生徒に適した教科書か、生徒に接したことの無い教育委員の皆様が判断なさる事は容易ではなく、大変なご苦労だと思います。教員が教科書を採択するのは世界の常識であり、日本でも勿論専門家である教員の意見を反映して教科書採択をすべきであるとしています。それが生徒たちの健全な成長に資するからです。しかも、「道徳」は生活の中から身につけて行くものであり、さらにそれを評価しなければならない教員にとって、自分の使いやすい教科書であってこそ望ましい教育ができるでしょう。

要望項目 2.

上記の理由から、教職員が教科書展示会に行つて十分に検討出来る方策をとること。採択地区を行政区毎の18地区に戻し、さらに各学校ごとの採択を目指すこと。

要望項目 3.

教科書展示会は十分な期間を取り、教科書内容についての市民・参加者の意見は教育

委員に示して採択に反映させること。

理由

横浜市では、展示会でのアンケートは、その運営についての意見を書けとの指示があったり、市民の意見は教育委員に全く知らせないという事実があります。これは開かれた採択を目指す文科省の方針に反し、展示会を開く意味も無にするものです。

要望項目 4.

採択を行う委員会は、希望者全員が傍聴出来る広い会場を用意し、市民に公開すること。採択の審議は委員それぞれの意見が明確に解るように行うこと。

理由

採択は教育委員会の責任で行われるからには、無記名投票という無責任な方法は恥ずべきことです。委員の皆さま全員が各出版社の教科書について特徴を挙げて十分な審議をし、誰がどのような理由でどの教科書を選んだかが解るようになしてください。

要望項目 5.

「道徳」教科書を選ぶに当たって以下の点にご留意ください。

① 人権、平和、共生など、日本国憲法の精神を生徒たちに充分伝えているものを選ぶこと。

特に国際都市横浜として、他国に対する優越意識を持たせるような記述のある教科書は選ばないこと。

② 一つの答えに導くのではなく、生徒たちの自由な発想を尊重し、「考え、議論する」ことを重視している教科書を選ぶこと。

③ 文科省の示す「徳目」にそって、生徒たちに自己評価をさせている教科書は、生徒たち自身に「内心」を評価させることで「内心」を縛る恐れがあるから選ばないこと。

④ 日本を美化し、それを強調し、偏狭なナショナリズムに繋がる記述のある出版社の教科書は選ばないこと。

以上